



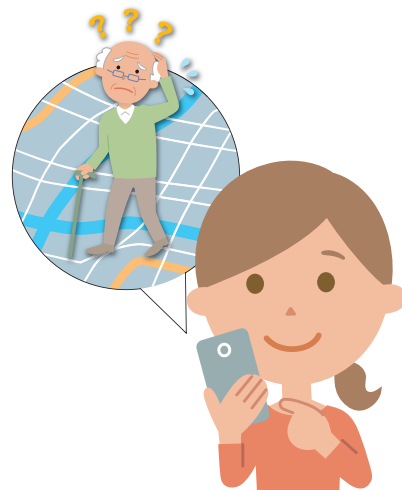
認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを目指して 北島町見守りシール交付事業

「いつまでも住み慣れた家で生活したい。」そう思っている、認知症等になり、今までできていたことができなくなることもあります。

しかし、周りの理解があれば、認知症になっても住み慣れた家、住み慣れた地域で生活することができる場合があります。今回は、認知症等で馴染んだ道がわからなくなったり、家に帰ることができなくなったりすることがある方への支援事業をご紹介します。

認知症の方のご家族様へ

- ①認知症等で見守りが必要な方へ、QRコードのついたシールを配布しています
- ②簡単な情報を入力し、登録！シールをご本人の衣服や持ち物に貼っておきます
- ③もしも、ご本人が道に迷ったとき、発見者がQRコードを読み取るとご家族にメールが送信されます
氏名、住所、連絡先などの個人情報は表示されない伝言板でのやりとりなので安心！



地域の皆様へ

- ①このシールに気づいてください！皆様の支援が必要な方です



- ②シールを身につけた方を見かけたら、ご本人の正面から優しく声をかけてください
- ③スマートフォンでQRコードを読み取ると、ご本人の情報を確認できます
可能であれば伝言板に現在地などを入力してください
発見者の氏名や連絡先などの個人情報も漏れることはありませんので安心してご協力をお願いします

お気軽に下記へご相談ください。



2021年5月15日 この日も川の中からたくさんのゴミが拾い集められた

#6

グリーンタウン お掃除クラブ

きたじま ささえあい大図鑑

川掃除のボランティア活動が開始されたのは2002年5月。奇数月ごとの開催を継続し、2021年5月現在、112回の活動を積み重ねてきており、延べ人数は1763名にのぼる。グリーンタウン内のゴミ集積場への掲示や徳島新聞での掲載によってボランティアの活動者を募ってきた。毎回15名程度が集まり、女性が大多数を占めている。

「実は土手をランニングしていた時に、河原にゴミが落ちていたのが目に入って気になっていました。集積場での活動案内を見て、何か力になれるかもしれないし、一人ではなかなかできないけど、みんなで一緒にやれるならと思って参加してみました」と話して下さったのは、2回目の参加となる村上理一さん。

長い棒の先に網や熊手のような物をくくりつけ、ボランティアの手でひとつずつ回収されたこれまでの川の中のゴミの総量は50リットルのゴミ袋で可燃物は485袋、不燃物は2107袋、家電類などの不法投棄数は280個にもなる。川の水位が低いときには川の中に入って作業をすることもあり、川岸に群生する芦や、野バラへの対処に苦労することも多いという。

また、川掃除のボランティア活動以外にも、チューリップ公園の球根の植え付けや手入れ、グリーンタウン内にある中央公園の見まわりや美化活動なども行っている。



今回お話いただいたのは・・・

グリーンタウンお掃除クラブ

たさ としお
滝 寿男さん (78歳)



きたじま ささえあい大図鑑



回収されたゴミは1つずつ分別する

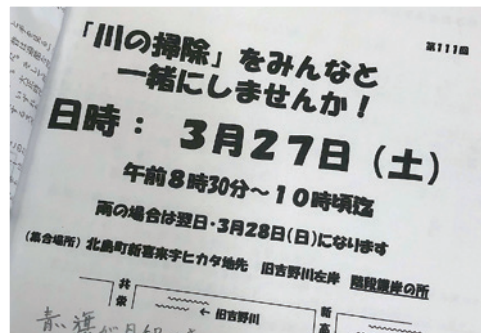


工夫をかさねたお手製の道具を使用

自分はそのういう人たちの『おかげ』で生きているんだなあ：

滝さんが川の掃除を始め
たきっかけは、サラリーマン時代に仕事で訪れた早明浦ダムにあった。自分たちが毎日あたり前のように綺麗な水を飲めるのは、上流に暮らす集落の人たちによる川の環境を保持するための努力があり、その恩恵を受けている事実を知った。それは、「自分はそのういう人たちのおかげで生きているんだ」という一端を感じる大きな出来事となった。上流に暮らす集落の方に恩返しをしたいという思いから、『吉野川源水を育む会』のメンバーとして寄付活動に励んでいた頃もあった。「人間の文明が発達すると様々な見かけの利便性は増えるが、その副作用が必ず在るという事実が痛く心が染みてね。だからいろいろな勉強をしたんです」と静かに心情を語った。

もうひとつの活動のきっかけは、人間関係の魅力。それは一般的な会社内での利害関係による関係性ではない地域の『お付き合ひ』を大切にしていきたいという思いがあった。勤めていた頃は多忙で近所関係は挨拶程度であったが、退職後に地域の希薄化を感じるようになった。滝さんは、「これから干渉し過ぎない適度な関わりをもっていく方が、自分たちの地域での暮らしが豊かになる」と考える。参加し始めて10年以上になる山添美知子さんも思いを寄せる。「最近足腰が痛くなってきたけど、みんなが一緒だったら続けられる。掃除をした後にみんなで食べた花見弁当はほんまに美味しかった。いい思い出やなあ」。グリーンタウンお掃除クラブの活動から、たくさんの『おかげさま』のカタチが見えてくる。



地域でささえあい活動をしている方、ぜひご連絡ください！

ささえあい活動や、集いの場、趣味の集まりなど、地域で活動されている方を募集中！
また興味はあるけどまだ出来ていない・・・という方も是非一度ご連絡ください。



問い合わせ先 北島町地域包括支援センター TEL: (088)698-8951

〒771-0203 徳島県板野郡北島町中村字上地 23-1(北島町総合庁舎 4F)

知っていますか、

認知症地域支援推進員のこと



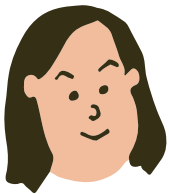
● 認知症地域支援推進員とは

認知症の方がいつまでも住み慣れた地域で生活できるように、認知症の方にやさしい町づくりを目指す人です。

認知症に関する相談対応や、地域での支援ネットワークづくりを推進するための活動を行います。

- 認知症の方やその家族のための相談支援
 - 地域の方に認知症を理解してもらうための活動（認知症サポーター養成講座など）
 - 認知症になっても安心して生活できるよう、医療、介護サービス、認知症カフェや家族会などの社会資源の整備や必要な方へ繋ぐための支援
- ・・・など

● 北島町の認知症地域支援推進員を紹介します！



「初めて推進員会に参加します。不慣れなことも多いですがよろしくお願いたします。」

- **グループホーム 癒音** (088-697-3788)
北村 理紗子 進藤 賀世

「どこまで参加できるかわかりませんが、皆様が安心して生活できる地域づくりのお手伝いをさせていただきます。」

- **グループホーム えんじゅ** (088-697-0757)
品川 美穂 小松 永治

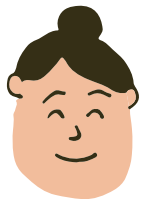


「認知症になっても住み慣れた場所で安心して生活ができるようお手伝いさせていただきますので、よろしくお願いたします。」「生活相談員をしております土村と申します。介護のことで悩んでいる方のサポートをさせていただきます」

- **特別養護老人ホーム吉野川荘** (088-698-3249)
関 稔昭 土村 直史

「介護や認知症に関するお悩みをお聞きし、一緒に考えて行ければと思います、お気軽に相談ください！」

- **特別養護老人ホーム 健祥会ライデン** (088-624-7701)
桑野 由美



「今年度も認知症地域支援推進員として、地域の皆様に貢献していきたいと思っております。宜しくお願いいたします。」

- **介護老人保健施設 敬愛の家** (088-698-7778)
近藤 美樹 三木 貴美